

学年・教科	第3学年	G・S	担当者 六沢 千淑
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること。		
指導計画		学習内容	
①PROGRAM1 ②PROGRAM2 ③Step1 ④PROGRAM3 ⑤Power-Up1 ⑥Steps2 ⑦Our Project7 ⑧Reading1 ⑨Steps3 ⑩PROGRAM4	1 学 期	①ask～to…/ It + be 動詞+～ (+ for) +to 不定詞 等 ②現在完了[進行]形 ※前年度の復習 ③聞き上手になろう ④tell 人 that ～ / call 人 ～ / make 人 ～ ⑤電車の乗り換え案内 ⑥ポスターセッションの流れを理解しよう ⑦パラスポーツについて理解を深めよう ⑧まとまりのある内容を読む ⑨ディスカッションの流れを確認しよう ⑩現在分詞・過去分詞の後置修飾/間接疑問文	
⑪PROGRAM5 ⑫Power-Up2 ⑬Step4 ⑭PROGRAM6 ⑮Our Project8 ⑯Power-Up3 ⑰PROGRAM7 ⑱Power-Up4 ⑲Reading2	2 学 期	⑪関係代名詞(主格) ⑫ポスターから情報を読み取ろう ⑬ディスカッションで使う表現をおさえよう ⑭関係代名詞(目的格) ⑮レストランにSDGsの取り組みを提案しよう ⑯ラジオのCMを聞こう ⑰仮定法過去/ I wish 主語+(助)動詞 ⑱ウェブサイトで学校を紹介しよう ⑲まとまりのある内容を読む	
⑳Special Project ㉑Further Reading 1 ㉒Further Reading 2	3 学 期	㉑中学校の思い出を残そう ㉑まとまりのある内容を読む ㉒まとまりのある内容を読む	
<b>観点別評価の観点と主な方法について</b>			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	知識 単語や文法などを理解している。 技能 単語や文法などを使うことができる。	・今までに習った内容を活用しながら、その場に応じた適切な表現を使って話したり、書いたりする。 ・まとまりのある内容を聞いたり読んだりして必要な情報を捉える。	・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。 ・見通しを立てたり振り返ったりしながら、学習を進めている。
評価方法	▶授業内ワークシート ▶小テスト ▶定期テスト ▶パフォーマンステスト など		▶自己評価 ▶他者評価 ▶パフォーマンステスト ▶授業内スタディアプリの取り組み状況 など
<b>&lt;学習のアドバイス&gt;</b>			
新しい単語が出てきたら、積極的に辞書を引いて意味を調べましょう。新しい文法事項(英文の作り方のルール)を徹底的に理解しましょう。計画的にワークを進めることが良い復習になります。テスト前までにワークを2回以上解いてみるのが理想です。また、間違いを恐れず積極的に英語を使ってみるのが上達のポイントです。上に書かれている学習内容は、主に教科書の内容に沿って計画されていますが、このほかに、さいたま市G・Sカリキュラムに沿って、教科書を通して習ったことを活用するパフォーマンステストを行っていきます。			
<b>使用教材</b>			
・教科書「SUNSHINE ENGLISH COURSE3」 ・ワーク「英語のパートナー」(正進社)			